

保証書

この保証書とお買い上げ時の販売証明書またはレシートを保管してください。
お買い上げ時の販売証明書またはレシートの日付から6か月間保証致します。
お買い上げ時の販売証明書またはレシートがない場合は保証致しかねますので予めご了承ください。
付属品は使用環境により寿命が大きく変化するため、本保証対象は本体のみであり付属品は含まれません。

保証内容

1. 通常使用により万一、不具合が生じた場合は本保証書により無償で修理致します。
2. 保証期間が過ぎた後の修理、保証の適用されない故障につきましては、有償で修理致します。
3. 保証書は再発行致しませんので大切に保管願います。
4. 保証期間内でも次の場合は有償となりますのでご了承ください。
 - 一般家庭用以外(例えば、業務用の長時間使用など)に使用された場合の故障および損傷。
 - 車両・船舶などに備品として使用した場合に生じる故障および損傷。
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句が書きかえられた場合。
 - 取り扱い上の不注意や誤った使用方法による故障および損傷。
 - 天災や保管上の不注意による故障および損傷。
 - お買い上げ後の輸送や移動時、落下などによる故障および損傷。
 - 弊社指定以外の修理人による修理または改造による不具合。
 - 保証書(お買い上げ時の販売証明書またはレシート)の提示がない場合。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

販売証明書(またはレシート)貼付欄

保証期間(本体)	お買い上げ日より6か月		
お買い上げ年月日		年	月 日
品名 / 10.8V 充電式 電動空気入れ		型番 / LAP-108	
※●お客様	ご住所		
	電話 ()		
	お名前 様		
※●販売店	住所・店名・電話		

※印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

- 保証書にご記入いただいたお客様の住所・氏名などの個人情報は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
- 修理のために、当社から修理委託している保安会社などに必要なお客様の個人情報を預託する場合がございますが、個人情報保護法および当社と同様の個人情報保護規程を遵守させていただきますので、ご了承ください。
- 保証期間内に転居する場合、贈答用としてご購入する場合などにおいて、保証書の記載事項の変更が必要な場合は、その手続きをお願い致します。
- この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 「不具合発生時や修理等の料金や納期に関しましては、ご購入いただいた販売店にご連絡願います。」

輸入元 青島商事株式会社

〒567-0825 大阪府茨木市園田町 8-18 4F

TEL: 072-648-5811

FAX: 072-648-5822

MADE IN CHINA

LIFELEX

10.8V 充電式

電動空気入れ

家庭用電動工具

LAP-108

取扱説明書



バッテリーパック・充電器は別売となっております。
本製品をお買い上げの販売店にてご購入ください。

この度は「10.8V 充電式 電動空気入れ LAP-108」をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。
ご使用前に必ず取扱説明書をよくお読みください。
お読みになった後はいつでも取り出して確認できるよう大切に保管をしておいてください。
本品はDIY商品として開発された商品です。一般家庭用としてご使用ください。

用途

- 自動車や自転車のタイヤ・ボール・ビニール製品等の空気入れに

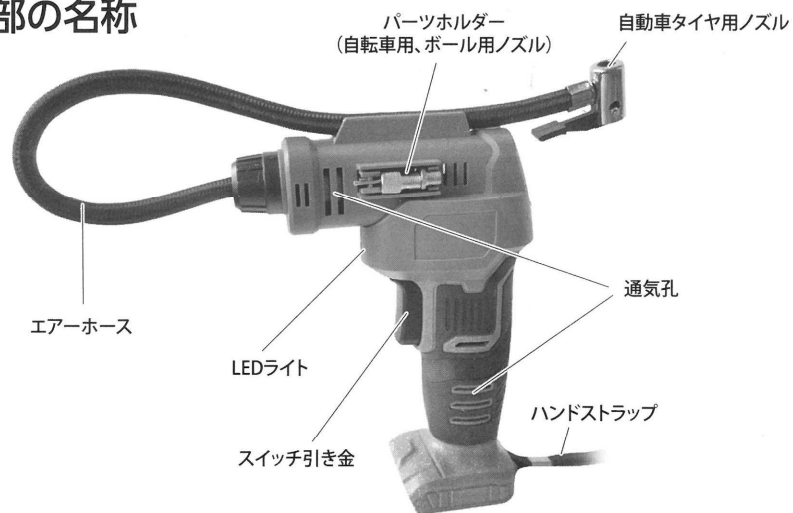
仕様

本体 (LAP-108)

モーター電圧	DC 10.8V
設定圧力	0.3~8.3bar /30~830KPA/5.0~120.0PSI
連続使用時間	約8分
本体サイズ	約長さ150×幅62×高さ207(mm)
質量	約0.68kg

※本製品は専用バッテリーパック (KMBP-108) 以外は使用できません。

各部の名称



付属品



● 自転車タイヤ用ノズル×1



● ボール用ノズル×1



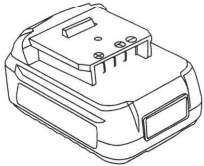
● ビニール製品用ノズル×1

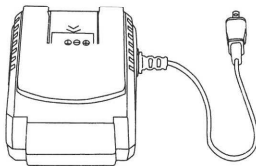
バッテリーパック・充電器は別売となっております。
本製品をお買い上げの販売店にてご購入ください。

別売品のご紹介

バッテリーパック・充電器について

●本製品をお買上げの販売店にてお買い求めください。ご注文のときは、下記の「品名・型式」をお伝えください。

品 名	10.8V専用バッテリーパック
型 式	KMBP-108
JANコード	4548927032149
	

品 名	10.8V専用充電器
型 式	KMBC-108
JANコード	4548927032156
	

充電工具のご使用上のご注意（共通）

※本項目は共通項目ですので、製品により内容が一致しない場合があります。

※本文中の「充電器」は「充電アダプター」を、「バッテリー」は「内蔵バッテリー」を含みます。

本製品を正しく安全にお使い頂き、ご自身や周囲の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、「警告」・「注意」・の表示をしています。

その表示と意味は次のようになっています。内容を良く理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。



本製品や付属品の取扱い等に関する重要な注意事項

充電工具を安全にお使いいただくために



警告

1. 専用の充電器やバッテリーを使用してください。
 - 指定以外の充電器でバッテリーを充電しないでください。
 - 指定したバッテリー以外は専用充電器で充電しないでください。（火災・破裂の原因）
2. 正しく充電してください。
 - 充電器は必ず家庭用 AC100V 50/60Hz 電源で使用してください。発電機やインバータ電源・DC 電源・仮設電源での使用はしないでください。
 - 取扱説明書に記載された充電温度範囲外で充電しないでください。（火災・破裂の原因）
 - 直射日光下・高温多湿な場所・雨中・粉じん・ごみ等が多い場所・異常な振動又は衝撃が発生する場所では充電しないでください。
 - 充電中に充電器・バッテリーを布などで覆わないでください。（火災・破裂の原因）
 - 充電するときは充電器とバッテリーの⊕⊖の方向を間違えずに取り付けてください。（火災・故障の原因）
 - 使用しない場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。（火災・感電の原因）
 - 充電が完了したら充電器からバッテリーパックを外してください。長時間充電状態が続くとバッテリーパックや充電器の寿命を縮める恐れがあります。
 - 充電中「焦げ臭い」「煙が出る」等の不具合が発生しましたら、直ちに電源プラグをコンセントから抜いて充電器の使用を中止し、お買上げの販売店にお申し付けください。
3. バッテリーの端子部を金属などに接触させないでください。
 - バッテリーを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。短絡して発熱、発火、破裂の恐れがあります。
4. バッテリー・充電器を火中・水中に入れないでください。（破裂・ケガの原因）
5. 高温などの過酷な条件下ではバッテリーから液漏れすることがあります。漏れ出た液体に不用意に触れないでください。
 - 万が一、バッテリーの液が目に入ったら、直ちにきれいな水で十分洗い、医師の治療を受けてください。
6. 使用できる時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。

充電工具のご使用上のご注意（共通）

⚠ 警告

7. 作業場はいつも整理・整頓し、きれいに保ってください。また、作業の妨げになるような物は取り除いてください。
8. 揮発性可燃物（ガソリン・シンナー・塗料・接着剤など）、引火性ガス（アセチレン・プロパンガス）のない場所で使用してください。（爆発・火災の原因になります。）
9. 濡れた所や湿気の多い所、雨中では使用しないでください。（感電、故障の原因になります。）
10. 作業場所に関係者以外は近づけないでください。特に小さなお子様は作業場や本製品に近づけないでください。
11. 作業に適した服装で作業してください。ネクタイ・ネックレス・手袋・袖口の開いた服装は可動部に巻き込まれる恐れがあり危険です。
12. 作業の時は、必ず保護メガネを着けてください。作業環境によっては、保護マスク・保護帽・耳栓・安全靴をご使用ください。
13. 防音保護具を着けてください。
 - 騒音の大きい作業の時は、耳栓、イヤークッションなどの防音保護具を着けてください。
14. ご使用前に製品に損傷がないか確認してください。
 - 本製品開封後は梱包内容を確認し、輸送による破損・ゆがみ・ひび割れ等の異常がないことを確認してからお使いください。（事故やケガの原因になります。）
 - ご使用前には必ず試運転を行い、製品の破損・ゆがみ・ひび割れ・異常音・異常振動などがないことを確認してからお使いください。（事故やケガの原因になります。）
15. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。
 - この取扱説明書に記載されている付属品やアタッチメント以外の物は使用しないでください。また、取扱説明書に従って正しく取り付けてください。（部品脱落や故障によるケガの原因）
16. 調整や点検に用いた工具は必ず取り外してください。
 - 使用する前に、調整・取付けに用いた工具が取り外されていることを確認してください。
17. 作業に合った充電工具を使用してください。
 - 小型の充電工具やアタッチメントは大型の充電工具で行う作業には使用しないでください。
 - 指定された用途以外に使用しないでください。
18. 無理な使用をしないでください。
 - 安全に能率良く作業するため、充電工具の能力に合わせて作業してください。
 - 足元の不安定な場所や無理な姿勢で使用しないでください。
19. 感電に注意してください。
 - 濡れた手での取扱いや充電器の電源プラグの抜き差しはしないでください。（感電の原因）
20. 通気孔をふさがないでください。
 - 通気孔は本体や充電器を冷やすために必要ですので、布などで覆ってふさがないでください。（火災・故障の原因）

充電工具のご使用上のご注意（共通）

⚠ 警告

21. 充電器などのコードの取扱いに注意してください。
 - 使用する前に、必ず充電器の電源コード・電源プラグを点検してください。無理に引っ張ったり挟んだりしないでください。また、コードを高熱の物・油や角のついた場所に近づけないでください。（火災・感電・故障の原因）。
 - 破損したときはお買上げの販売店に修理を依頼してください。
 - コンセントから充電器の電源プラグを抜き差しするときは、必ず電源プラグやアダプターを持って抜き差ししてください。（火災・故障の原因）
 - 作業者以外は本製品やコードに触れさせないでください。
 - 感電防止のため、漏電遮断器を設置することをお勧めします。
22. 不意な始動はさけてください。
 - 充電工具を移動する場合や付属品を交換するときは、スイッチに指をかけないでください。（ケガの原因）
23. 材料側を動かして加工する場合を除き、加工物はしっかりと固定してください。
 - 加工物・対象物は必要に応じてクランプや万力等で固定してください。手で加工物を保持するより安全で、両手で充電工具を使用できます。
24. 本体作動部には触れないでください。
 - 作動中回転部やその付近に手や身体、顔を近づけないでください。（ケガの原因）
25. 油断せず、十分注意して使用してください。
 - 本製品を使用する場合は、取扱方法・作業の仕方・周りの状況等に十分注意して慎重に使用してください。
 - 疲れていたり、体調のすぐれないときは使用しないでください。
 - 長時間の連続作業は疲労による事故の原因となります。
26. やけどに注意してください。
 - 使用直後は、本体（モーター）や加工物が熱くなっていることがあります。冷えるまで直接手肌に触れないようにしてください。
27. 定期的に点検してください。
 - 充電器の電源プラグや充電工具本体・充電器の通気孔にほこりや粉じん等が付着している場合には、よく取り除いてください。（火災・故障の原因）
28. 使用しないときはきちんと保管してください。
 - 使用しないときは、直射日光のあたらない・風通しの良い・乾燥した場所で、お子様の手の届かない安全な場所や、鍵のかかる場所にきちんと保管してください。
 - 充電工具本体やバッテリーを、温度が50℃以上上がる可能性のある場所（使用中の暖房器具の付近・車中・直射日光下）に保管しないでください。
29. 分解・改造をしないでください。
 - 本製品にはいかなる改造も加えないでください。
30. ご自身で修理しないでください。
 - 故障・異常時は直ちにスイッチを切って本製品の使用を中止し、お買上げの販売店にお申し付けください。
 - 修理の知識や技術のない方が修理すると事故やケガの原因となります。

ご使用上の注意 (共通)

⚠ 注意

1. 延長コードを使用して充電する場合。

- 屋外で充電する場合、キャブタイヤコード又はキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
- 使用する延長コードの取扱説明書・注意事項をよく読み、正しく使用してください。

2. こまめに手入れしてください。

- 本製品は定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店に修理をお申し付けください。
- 本製品に油やグリースが付着した場合は、柔らかい布で乾拭きしてください。
- 汚れの著しい場合は、薄めた中性洗剤を使用して水拭きしてください。その後、乾いた布で水分が残らないように拭き取ってください。
- ワックス・アルコール類・シンナー・ベンジン等は使用しないでください。(故障・破損の原因)

3. その他

- 火のそばや閉め切った車内・直射日光の当たる場所・高温になる場所には、放置・保管しないでください。変形・変色・劣化のおそれがあります。

騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないよう、規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、遮音壁を設けて作業してください。

本製品電動空気入れのご使用上の注意

⚠ 警告

1. 指定の先端パーツ・バッテリーパック・充電器以外は使用しないでください。
(事故・故障の原因)
2. 使用する先端パーツの使用方法・注意事項をよく読み、その指示を守って安全に作業してください。
3. 使用する前に必ず近くに人がいないことを確認してください。また、使用中には人を近づけないでください。ケガの原因になります。
4. 取扱説明書に記載されている用途、又は能力以上の作業には使用しないでください。
5. 作動すると危険な場合は、バッテリーパックを取り外してください。
6. バッテリーパックは発煙・発火・破裂のおそれがあります。次のことを守ってください。
 - 端子に金属を接触させないでください。
 - 釘や硬貨等が入った袋や箱の中に入れてください。
 - 釘を差したり、強い衝撃を与えないでください。
 - 雨や水に濡らさないでください。
7. ガソリン・ガス・塗料・接着剤等、爆発・引火のおそれがある物質の近くでは、絶対に使用しないでください。爆発や火災のおそれがあります。
8. 使用中、本体の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切り使用を中止し、お買い上げの販売店にお申し付けください。
9. 火災のおそれがあります。次のことを守ってください。
 - 段ボールなどの紙類・座布団などの布類・畳・カーペット・ビニール袋等の上では充電しないでください。
 - 充電器の通気孔を充電中にふさがないでください。また通気孔に金属類・燃えやすい物を差し込まないでください。
 - 綿ぼこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。
10. 充電器のバッテリーパック差込口には充電用端子があります。金属片・木等の異物や水を入れないでください。
11. 充電器・バッテリーパック内部に水が入ってしまった場合は、絶対に使用しないでください。(事故・故障の原因)
12. 充電器は充電以外の用途に使用しないでください。
13. 体調のすぐれないときや作業に疲れたときは使用を控えてください。また、炎天下の作業はできるだけ避けてください。作業をする場合は暑さ対策をし、体調に十分注意してください。
14. 長時間の継続作業はしないでください。疲労による事故・手のしびれ・ハクロウ症の原因になります。目安として30分間の作業に10～20分間の休憩をとってください。

本製品電動空気入れのご使用上の注意

⚠ 注意

1. 先端パーツや付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。確実にしないと外れたりし、けがの原因となります。
2. 精密機械への吹き付けには絶対に使用しないでください。(破損の原因)
3. 使用直後の本体は高温になっています。手などが触れないように注意してください。
4. 本体内部にごみ等が入らないように注意してください。
5. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確認してください。
6. バッテリーパックの連続使用は2個までにしてください。(故障の原因)
 - 連続使用する場合は本体を十分に冷ましてください。
7. 本体は5～40℃で使用してください。
8. モーターの始動・停止及び回転中に本体の通気孔から火花が見えることがありますが、故障ではありません。
9. 充電器・バッテリーパックについて
 - 充電中、充電器やバッテリーパックはある程度熱を持ちますが、故障ではありません。
 - 新品の状態や長期間充電されていなかったバッテリーパックは電池容量が低下し本来の能力を発揮できない場合があります。この場合、2～3回充放電を繰り返すと電池容量が回復します。

使用前の準備

● 充電方法

⚠ 警告

1. 必ずこの取扱説明書を全てお読みになり、正しくお使いください。
2. 必ず専用の充電器・バッテリーパックを使用してください。また、充電器の使用電源は必ず銘板に表示してある電圧(家庭用AC100V)で使用してください。
3. 充電器の電源コードは無理な力・熱・油等で損傷することがないように注意してください。

注

1. お買上げ時は、バッテリーパックは十分に充電されていない場合があります。ご使用前に充電アダプターで正しく充電してから使用してください。
2. バッテリーパックの端子部分にごみづまりがある場合は、取り除いてください。
3. 充電時間は周囲温度やバッテリーパックの状態により変動します。
4. 新品や長期間充電されなかったバッテリーパックは、電池容量が低下し、本来の能力を発揮できない場合があります。この場合は2～3回充放電を繰り返すと電池容量が回復します。
5. 使用直後のバッテリーパックは熱を持っているため充電することができません。必ず1時間以上冷ましてから充電してください。
6. フル充電状態のバッテリーパックを再充電しないでください。

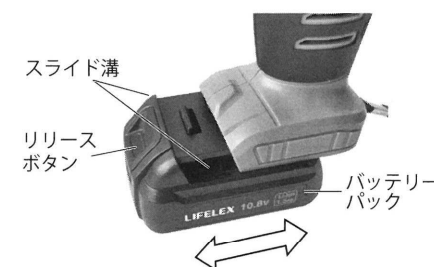
● バッテリーパックの取付け・取り外し

取付け

本体とバッテリーパックのスライド溝をきちんと合わせて、「カチッ」と音がするまで押し込んでください。
※バッテリーパックがしっかり固定されていることを確認してから使用してください。

取り外し

バッテリーパックのリリースボタンを押して、スライドさせて取り外してください。
※バッテリーパックが取り外しづらいときは、本体をしっかり持ち、バッテリーパックの側面を押しながら、バッテリーパックのリリースボタンを押してスライドさせてください。



使い方

ボタン操作

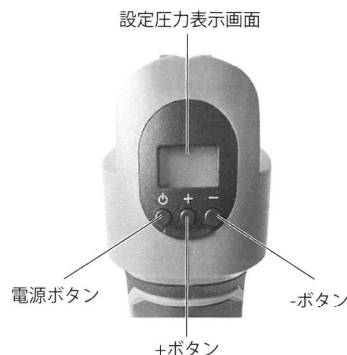
⚠ 注意

- 設定圧力表示画面に表示される数値はあくまで目安です。正確な空気圧は市販の圧力計等で確認してください。
- 電源が入っているときのみ設定圧力を変更できます。

1. 電源ボタンを押すと電源が入り、設定圧力表示画面とLEDライトが点灯します。電源ボタンを長押しすると電源が切れ、設定圧力表示画面とLEDライトが消灯します。

※ 操作しない状態で約30秒放置すると電源が切れ設定圧力表示画面とLEDライトが消灯します。
また、バッテリーパックを取り付けた状態で長時間放置すると電源ボタンを押しても起動しません。
その場合、バッテリーパックを取り付け直してから使用してください。

2. +ボタンを押すと設定圧力が上がり、-ボタンを押すと設定圧力が下がります。



スイッチ引き金の操作

スイッチ引き金を引くと作動し、離すと停止します。



使い方

⚠ 警告

- 使用中は、本体を確実に保持してください。
- 手や指で通気孔をふさがないように注意してください。(故障の原因)
- 使用する先端パーツは絶対人に向けて、顔を近づけないでください。
- 使用する前に先端パーツがエアホースのチャック部と完全に固定されていることを確認してください。完全に固定されていないと使用中に外れるおそれがあります。(事故の原因)
- 自動車タイヤ用ノズルは特殊なタイヤ(大型車・トラック・農業機械等)には使用できません。
- 自転車タイヤ用ノズルは特殊なタイヤ(競技用など)には使用できない場合があります。

⚠ 注意

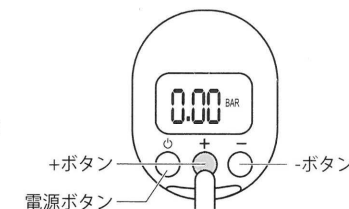
- 空気の入れ過ぎに注意してください。
- 指定の先端パーツを使用してください。
- 本製品は短時間の使用を前提に設計されています。長時間の連続作業はしないでください。(故障・破損の原因)
- 作業直後の本体は大変熱くなっています。やけどに注意してください。
- 精密機械への吹き付けには絶対に使用しないでください。(破損の原因)
- 法令及び各都道府県等の条例で定められた騒音防止規制を守り、周辺に迷惑をかけるような状況に応じて遮音壁を設けるなどして規制値以下で使用してください。

注

- 本製品は作動音が大きいため必要に応じて耳栓・耳覆い(イヤマフ)等防音保護具を着用してください。

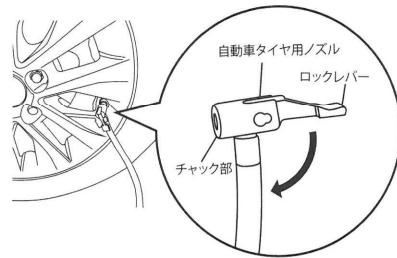
自動車のタイヤに空気を入れる場合

1. 電源ボタンを押すと電源が入り、設定圧力表示画面とLEDライトが点灯します。
+-ボタンを押し、設定圧力をセットしてください。
設定後、約3秒間数値が点滅し、記憶され、表示が「0.00」になります。
- ※ 最初に対象物の空気圧を確認してから設定をしてください。
前回の設定値が記憶されるので、毎回設定内容を確認してください。



使い方

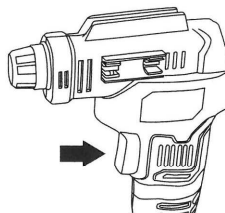
2. 自動車タイヤのバルブキャップを外す。
3. 自動車タイヤ用ノズルのチャック部を対象物に接続し、ロックレバーをエアホース根本側に倒してください。



4. 電源ボタンを押すと電源が入り、設定圧力表示画面とLEDライトが点灯します。
設定圧力表示画面に対象物の現在の圧力が表示されます。
(例1.8BAR)
※設定空気圧より現状のタイヤ空気圧が高ければ本機は作動しません。



5. スイッチ引き金を引き、空気入れを開始してください。
※1回引けば指を離してもスイッチOFFになりません。

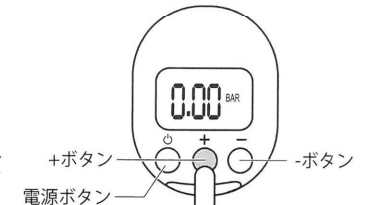


6. 設定圧力まで空気が入ると自動で止まります。
※自動で停止したら必ずスイッチ引き金を押して運転を停止してください。
設定圧力になったことで一時的に運転が停止している状態です。
スイッチ引き金を押して運転を停止しないと、対象物からノズルを取り外す際、吐出圧力が設定圧力より低下し、再び空気入れを開始します。

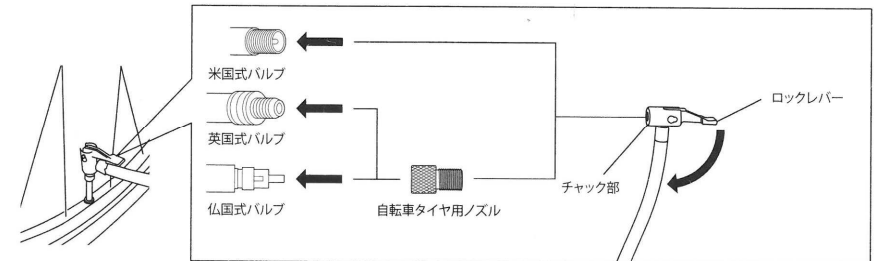
使い方

自転車のタイヤに空気を入れる場合

1. 電源ボタンを押すと電源が入り、設定圧力表示画面とLEDライトが点灯します。
+-ボタンを押し、設定圧力をセットしてください。
設定後、約3秒間数値が点滅し、記憶され、表示が「0.00」になります。
※最初に対象物の空気圧を確認してから設定をしてください。
前回の設定値が記憶されるので、毎回設定内容を確認してください。



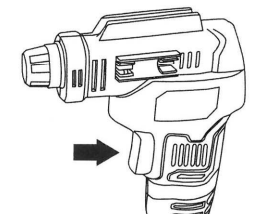
2. 自転車タイヤのバルブキャップを外す。
3. 自転車タイヤ用ノズルを対象物に接続してからチャック部に差し込み、ロックレバーをエアホース根本側に倒してロックしてください。
※米国式バルブは自転車タイヤ用ノズルを必要とせずにそのまま使用できる。



3. 電源ボタンを押すと電源が入り、設定圧力表示画面とLEDライトが点灯します。
設定圧力表示画面に対象物の現在の圧力が表示されます。
(例1.8BAR)
※設定空気圧より現状のタイヤ空気圧が高ければ本機は作動しません。



5. スイッチ引き金を引き、空気入れを開始してください。
※1回引けば指を離してもスイッチOFFになりません。



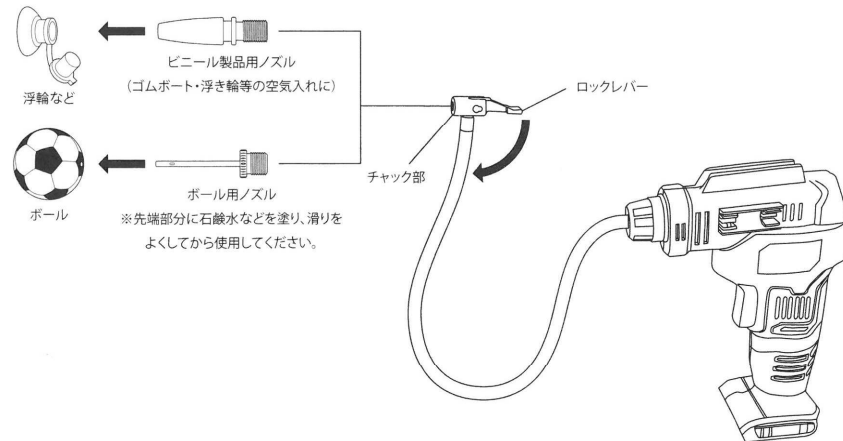
6. 設定圧力まで空気が入ると自動で止まります。
※自動で停止したら必ずスイッチ引き金を押して運転を停止してください。
設定圧力になったことで一時的に運転が停止している状態です。
スイッチ引き金を押して運転を停止しないと、対象物からノズルを取り外す際、吐出圧力が設定圧力より低下し、再び空気入れを開始します。

使い方

ボールやビニール製品・浮き輪等に空気を入れる場合

用途に合ったノズルをチャック部に差し込み、ロックレバーをエアーホース根本側に倒してロックしてください。

※ビニール製品など適正空気圧が決められていない物は設定 圧力を指定せず、対象物の空気の入り具合を確認しながら空 気を入れてください。



圧力を設定する

使用前に必ず対象物の空気圧を確認してから圧力を設定します。
前回使用時の圧力が記憶されていますので、都度、設定を確認して下さい。

1、電源ボタンを押して圧力単位を設定する。

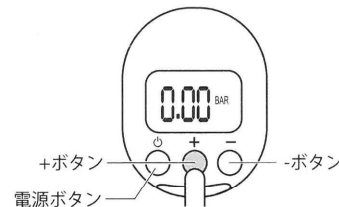
※電源ボタンを押すたびに

[bAr] → [KPA] → [PSI]

の順で圧力単位が切り替わります。

2、+ボタン、-ボタンを押して圧力の数値を設定する。

※表示パネルに設定可能範囲を逸脱した数値も表示されますが、
本機の設定可能範囲は以下の通りとなります。



圧力単位	設定可能範囲
BAR	0.30～8.30
KPA	30～830
PSI	5.0～120.0

3、数値設定後、数値が点滅の後、0、0.0、0.00のいずれかが表示されれば設定完了です。

空気圧換算表

BAR	kPa	kgf/cm ²	PSI	BAR	kPa	kgf/cm ²	PSI
0.3	30	0.3	4	4.3	430	4.4	62
0.4	40	0.4	6	4.4	440	4.5	64
0.5	50	0.5	7	4.5	450	4.6	65
0.6	60	0.6	9	4.6	460	4.7	67
0.7	70	0.7	10	4.7	470	4.8	68
0.8	80	0.8	12	4.8	480	4.9	70
0.9	90	0.9	13	4.9	490	5.0	71
1	100	1	15	5	500	5.1	73
1.1	110	1.1	16	5.1	510	5.2	74
1.2	120	1.2	17	5.2	520	5.3	75
1.3	130	1.3	19	5.3	530	5.4	77
1.4	140	1.4	20	5.4	540	5.5	78
1.5	150	1.5	22	5.5	550	5.6	80
1.6	160	1.6	23	5.6	560	5.7	81
1.7	170	1.7	25	5.7	570	5.8	83
1.8	180	1.8	26	5.8	580	5.9	84
1.9	190	1.9	28	5.9	590	6.0	86
2	200	2.0	29	6	600	6.1	87
2.1	210	2.1	30	6.1	610	6.2	88
2.2	220	2.2	32	6.2	620	6.3	90
2.3	230	2.3	33	6.3	630	6.4	91
2.4	240	2.4	35	6.4	640	6.5	93
2.5	250	2.5	36	6.5	650	6.6	94
		2.6	37	6.6	660	6.7	96
2.6	260	2.7	38	6.7	670	6.8	97
2.7	270	2.8	39	6.8	680	6.9	99
2.8	280	2.9	41	6.9	690	7.0	100
2.9	290	3.0	42	7	700	7.1	102
3	300	3.1	44	7.1	710	7.2	103
3.1	310	3.2	45	7.2	720	7.3	104
3.2	320	3.3	46	7.3	730	7.4	106
3.3	330	3.4	48	7.4	740	7.5	107
3.4	340	3.5	49	7.5	750	7.6	109
3.5	350	3.6	51	7.6	760	7.7	110
3.6	360	3.7	52	7.7	770	7.9	112
3.7	370	3.8	54	7.8	780	8.0	113
3.8	380	3.9	55	7.9	790	8.1	115
3.9	390	4.0	57	8	800	8.2	116
4	400	4.1	58	8.1	810	8.3	117
4.1	410	4.2	59	8.2	820	8.4	119
4.2	420	4.3	61	8.3	830	8.5	120

※数値は目安です。

お手入れと保管

●各種ねじの点検

各部取付ねじなどでゆるんでいる場所がないか定期的に点検してください。もし、ゆるんでいる場所があれば締め直してください。

●本体について

⚠ 警告

お手入れのときは必ずスイッチを切り、本体からバッテリーパックを抜いた状態で行ってください。また、作業直後は熱を持っていますので、冷めるのを待ってから行ってください。

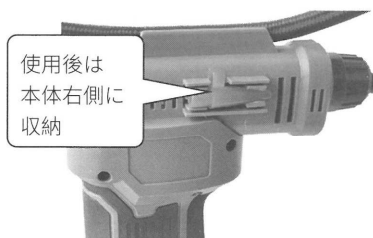
1. ワックス・アルコール類・シンナー・ベンジン等は使用しないでください。また、水をかけての丸洗いはしないでください。（破損・故障の原因）
2. 汚れの著しい場合は、薄めた中性洗剤を使用して水拭きしてください。その後、乾いた布で水分が残らないように拭き取ってください。

●保 管

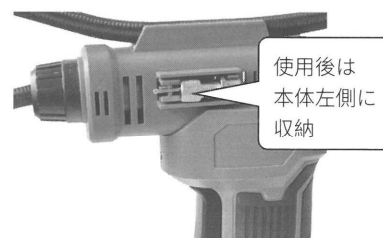
※ 使用しないときは自動車用ノズルのロックを必ず解除してください。

※ 使用しないときは、直射日光のあたらない・風通しの良い・乾燥した・お子様の手の届かない安全な場所、又は鍵のかかる場所にきちんと保管してください。

ビニール製品用ノズル



自転車タイヤ用ノズル、ボール用ノズル



充電器とバッテリーのご使用上のご注意（共通）

⚠ 警告

1. バッテリーパックの充電は温度が10～35℃の範囲で行ってください。
 - 範囲外の温度で充電すると、破裂・火災の原因となります。
2. 火災のおそれがあります。次のことを守ってください。
 - 段ボールなどの紙類・座布団などの布類・畳・カーペット・ビニール袋等の上では充電しないでください。
 - 充電器の通気孔を充電中にふさがないでください。また通気孔に金属類・燃えやすい物を差し込まないでください。
 - 綿ぼこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。
3. 充電器のバッテリーパック差込口には充電用端子があります。金属片・木等の異物や水を入れないでください
4. 充電器・バッテリーパック内部に水が入ってしまった場合は、絶対に使用しないでください。（事故・故障の原因）
5. 充電器は充電以外の用途に使用しないでください。
6. 充電中、異常発熱などの異常に気が付いたときは、ただちに電源プラグを抜いて充電を中止してください。そのまま充電を続けると破裂・発火・発煙の恐れがあります。
7. フル充電状態のバッテリーパックを再充電しないでください。
8. 充電器及びバッテリーパックが熱を持ったままでは正常に充電できません。
 - 充電する前に、必ずバッテリーパック・充電器が十分冷めていることを確認してください。
 - 1台の充電器で複数の充電を続けて行う場合、必ず15分以上間隔をあけてください。
 - 使用直後のバッテリーパックは過熱状態になっていますので、充電する前に必ず十分な冷却時間を設けてください。

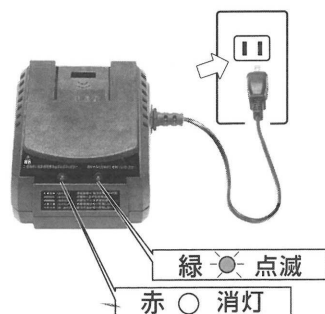
⚠ 注意

1. 延長コードを使用して充電する場合。
 - 屋外で充電する場合、キャブタイヤコード又はキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
 - 使用する延長コードの取扱説明書・注意事項等をよく読み、正しく使用してください。

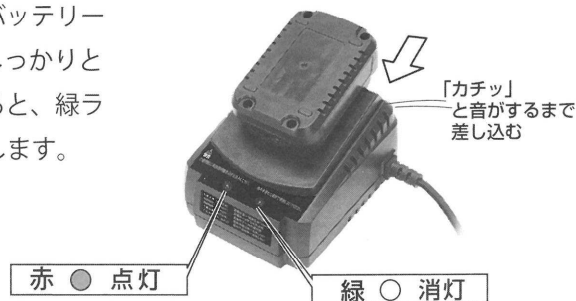
バッテリーパックの充電方法（共通）

●充電方法

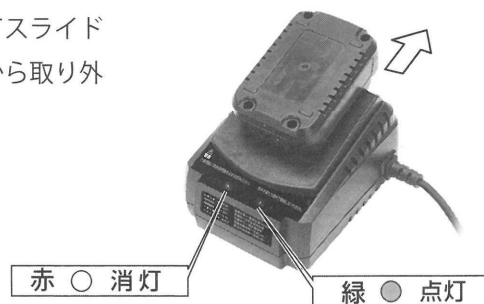
1. 充電器の電源プラグをコンセントに差し込んでください。緑ランプが点滅することを確認してください。



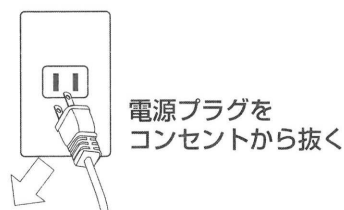
2. 本体への取り付けと同じ要領で、バッテリーパックを充電器の差込口に奥までしっかりと差し込んでください。充電が始まると、緑ランプが消灯して、赤ランプが点灯します。



3. 約45分間で充電が完了すると、緑ランプが点灯して、赤ランプが消灯します。充電が完了したら、リリースボタンを押してスライドさせてバッテリーパックを充電器から取り外してください。



4. 充電が完了したら、必ず充電器の電源プラグをコンセントから抜いて、風通しの良い場所で十分に熱を冷ましてください。



●充電器のランプ表示について

LED表示ランプ	
● ○ ● ○ (緑点滅)	通電状態=電源正常ON状態
■ (赤点灯)	充電中=正常な充電状況
■ (緑点灯)	充電完了=満充電状態
● ○ ● ○ (赤点滅)	充電待機状態=充電しない (電池が高温、冷ましてから再充電)
● ● ● ● (赤と緑の交互点滅)	電池不良状態=電池が充電できない (電池が故障、電池をご購入ください。)

⚠ 注意

1. バッテリーパックが熱を持っていると、充電できません。室温が25℃以下の風通しの良い場所で1時間以上冷ましてください。
2. バッテリーパック内部の温度が下がらないと充電が開始されません。
3. 充電時間が規定時間（約45分間）に大きく満たない時間で終了してしまう場合、充電異常になっていた恐れがあります。バッテリーパックや充電器を十分に冷ましたうえで再度充電を行ってください。それでもフル充電出来ない場合は、バッテリーパックもしくは充電器の故障が考えられます。
4. 充電時間が1時間を著しく超えても、充電が完了しない場合はバッテリーパックもしくは充電器の故障が考えられます。ただちに使用を中止してください。
5. 充電異常が復旧しない場合または、バッテリーパックおよび充電器の故障が考えられる場合は、ただちに充電器の電源プラグをコンセントから抜き、使用を中止して、お買い上げの販売店にお申し付けください。

● バッテリー残容量表示機能

チェックボタンを押すとバッテリー表示ランプが残容量を緑ランプで表示します。

バッテリー表示ランプ	バッテリー残容量
●点灯 ○消灯	
● ● ●	満充電状態
● ○ ○	充電してください



●表示される残容量は、ご利用状況や気温などによって実際の残容量と異なる場合があります。

■ バッテリーパック・充電器のお手入れと保管 (共通)

⚠ 警告

1. お手入れのときは、バッテリーパックを取り外してください。
2. 故障・異常時は直ちにスイッチを切って本製品の使用を中止し、お買上げの販売店にお申しつけください。

● バッテリーパック・充電器について

⚠ 注意

本体や充電器・バッテリーパックを、温度が50℃以上に上がる可能性がある場所(使用中の暖房器具の付近・車中・直射日光下)に放置・保管しないでください。(故障・バッテリーパック劣化の原因)

1. 長時間使用しない場合は、一旦使い切ってフル充電を行ってから保管してください。使い切った状態で保管すると、バッテリーの性能が低下する場合があります。直射日光のあたらない・風通しの良い・乾燥した場所に保管してください。
2. バッテリーパックを保管・携帯する場合は、絶縁テープを端子部分に貼り付けてください。
3. フル充電を行っても能力が通常の半分以下になった場合は、バッテリーパックの寿命ですので、使用せず新しいバッテリーパックをお買い求めください。
4. バッテリーパックの寿命は、使用頻度・使用方法によって異なります。
5. フル充電したバッテリーパックを再度充電しないでください。バッテリーパックが過充電され、寿命を短くします。
6. 充電は10℃～35℃の範囲で行ってください。使用直後などの熱くなったバッテリーパックは、十分に冷やしてから充電してください。
7. 蓄電能力維持のため、3か月に1度はフル充電を行ってください。



本製品に使用している蓄電池はリサイクル可能な貴重な資源です。不要になったバッテリーパックは、環境保護のため一般のごみと一緒に捨てずに、最寄のリサイクル協力店(リサイクル表示のある販売店)までお持ちください。

